

液晶画面

1. AMアイコン/PMアイコン
2. 時表示 分表示
3. 3月日表示
4. 電波受信 アイコン
5. 車内(INT)/車外(EXT)/バッテリー(BATT)アイコン
6. 車内温度、車外温度、電圧表示

秒表示

1. 12Hに設定している場合、午前AM、午後になるとPMのアイコンがそれぞれ表示されます。24H設定している場合は表示されません。
2. 標準電波を受信すると自動設定されます。手動設定も可能です。12H表示と24H表示が選択できます。
3. 標準電波を受信すると、自動設定されます。手動設定も可能です。
4. 標準電波受信状態になると電波レベルアイコンが左から右へ順に点灯します。正確な時間に補正された場合電波アイコンが翌日の0時まで表示し続けます。
5. 車内温度を選択するとINT、車外温度を選択するとEXT、電圧を選択するとBATTが表示されます。
※電圧表示の場合、エンジン回転時はバッテリーへの充電電圧を表示します。
6. 車内温度、車外温度、電圧のうち2つを選んで同時に表示できます。

トラブルシューティング(このような場合の対処法)

トラブル内容	対処法	補足
電波を受信しない	24時間そのままにしておく 受信環境を変えて受信をやり直す	自動受信する時間帯が最も電波を受信しやすい環境です。手動で時刻設定した後、24時間そのままに自動受信させてください。 受信場所などを変えて、強制受信させてください。もしくは手動で時刻設定した後、受信場所などを変えて24時間そのままに自動受信させてください。
新しい電池を入れても画面が表示されない	リセットする 電池を入れなおす	本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、初期化してください。 一度電池を取り外して、電池の向きを確認して再度電池を入れてください。
電波受信が成功しているにも関わらず時刻表示が時短と合わない	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、初期化してください。
エンジンを切ると時刻がリセットされる	新しい電池に取り替える エンジンをかける	電池残量が少なくなると、現在時刻を記録できなくなります。お早めに新しい電池に取り替えてください。 DC電源プラグが通電時のみ、バッテリー電圧が測定・表示されます。
バッテリー電圧が表示されない	標準電波の自動受信を手動で停止する	標準電波受信中はバッテリー電圧の表示はされません。車内/車外温度の測定・更新もされません。
温度表示/バッテリー電圧表示が異常と思われるとき	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、表示違いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、初期化してください。

1. 時計のセッティング

- お買い求めいただいた直後の状態では、時計は起動しておりません。使用できるようにするためのセッティングを以下の手順で行ってください。
- 1. 時計本体液晶パネルに貼ってある保護シートを剥がしてください。(図7)
- 2. 付属のモニター用電池のプラス面を上にはめ込んでください。(「5. 電池交換方法」を参照してください。)
- ※付属の電池は「お試し用」ですので、寿命が短い場合があります。
- 時計本体の電源が入り、液晶画面が全点灯した後、「初期設定は2013年1月1日、AM12:00」から時計が起動します。そして自動的に電波受信を開始します。
- ※電波の受信には最大約8分かかります。詳しくは「標準電波の自動受信」を参照してください。
- ※昼間は電波の受信が難しい環境です。受信に失敗した場合は、「手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。

(図7)

保護シートを取り除く

2. 標準電波の自動受信

- 本製品は一日に4回(AM2:00、AM3:00、AM4:00、PM4:00)自動受信を行い、時刻の補正を行います。その日の自動受信で一回受信に成功すれば翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- まず60Kでの電波受信を行い、約4分間で受信しなかった場合、受信周波数が40Kに自動的に切り替わり、約4分間受信を試みて終了します。(図8)
- 60Kの受信中にWAVE/DISPLAYボタンを押すと、40Kの受信に切り替わります。(図9)
- 40Kの受信中にWAVE/DISPLAYボタンを押すと、電波受信を終了します。その際、アイコン表示は受信失敗時のものになります。(図9)(図10)
- 受信が終了するまでWAVE/DISPLAYボタン、RESETボタン以外は作動しません。電波受信中は電波受信周波数が表示され、受信状態を示す電波レベルアイコンが点滅します。(図10)
- 電波受信中は、電波レベル(受信しやすさ)によって電波レベルアイコンの表示数が変わります。電波レベルが1~2のときは、受信しにくい環境ですので、受信環境を変えてみてください。(図10)
- 電波受信が成功すると、電波受信アイコンと受信した周波数が液晶画面に表示され、標準時刻に補正されます。
- 電波受信に失敗した場合、周波数アイコンと電波レベルアイコンは表示されません。(図10)
- ※電池を入れた直後の自動受信に失敗した場合は、必ず「手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。
- ※標準電波受信中は「車内/車外温度、電圧」表示は変化しません。
- ※標準電波受信中は本体を動かさないでください。

(図8) 電波受信アイコン

周波数アイコン
40K 60K
電波レベルアイコン

(図9) WAVE/DISPLAYボタン

(図10)

40K 60K 40K 60K
受信成功例 受信失敗例(非表示) 電波レベル1 電波レベル2 電波レベル3

3. 標準電波の強制受信

- 電波アイコンが表示されていない時などに、ボタン操作でいつでも標準電波を受信することができます。(電波送信所の落雷や定期保守実施時には電波送信が停止されます。その際は電波受信できません。詳しくは「日本標準時プロジェクト」のホームページ <http://jij.nict.go.jp/> でご確認ください。)
- WAVEボタン/DISPLAYボタンを約2秒間押し続けると、強制的に電波の受信を行います。電波受信中の表示・操作に関しては、「標準電波の自動受信」を参照してください。
- 受信に成功すれば、翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- ※受信に失敗した場合、同じ環境で再度強制受信をしても受信を成功させることは困難です。「手動時刻設定」を参照して時刻を合わせるか、自動受信を待ってください。

4. 手動時刻設定

※電波受信中は手動時刻設定ができません。WAVEボタン/DISPLAYボタンを押して受信を中止してください。

- 電波の受信ができない場合や、購入後などですぐに時刻を合わせたい場合などは、手動時刻を設定することができます。
- 数字はUPボタンで1ずつ進んでいきます。数字は1周ループしないと戻れませんのでご注意ください。(西暦は最大2099まで進んで、2000に戻ります。)
- 「年(西暦)」→「月」→「日」→「時」→「分」に順に設定していきます。「分」まで確定すると通常状態に戻り、時計がスタートします。

1 手動時刻設定のスタート

- 時計の手動時刻設定には、本体背面のSETボタンとUPボタンを使用します。
- 本体背面のSETボタンを約2秒間押し続けてください。
- ※手動時刻設定中は、UPボタンを1回押すと数字が1つ繰り上がり、長押しすると連続で数字が繰り上がります。
- ※手動時刻設定中に何も操作せずに30秒経過すると、自動的に通常状態へ戻ります。設定した項目は記憶されます。

(図1)

SETボタン
UPボタン

2 年(西暦)の設定

- 「年(西暦)」の4桁が点滅表示します。UPボタンを押して現在の年(西暦)に合わせてください。
- ※2099まで増加した後は、2000に戻ります。
- SETボタンを押すと確定します。

(図2)

3 月の設定

- 「月」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「月」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。

(図3)

4 日の設定

- 「日」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「日」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。

(図4)

5 時の設定

- 「時」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「時」に合わせてください。(AMが午前、PMが午後です。)
- SETボタンを押すと確定します。

(図5)

6 分の設定

- 「分」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「分」に合わせてください。(AMが午前、PMが午後です。)
- ※UPボタンを1回でも押すと、「秒」が00にリセットされます。
- SETボタンを押すと確定します。

(図6)

5. 電池交換方法

- 電池交換の際は、時計本体背面の電池フタを押し下げて古い電池を外し、新しい電池(CR2032)をプラスを上側にして取り付け電池フタを戻してください。
- 使用電池はCR2032タイプです。交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼していたら、お住まいの地域ルールに基づいて処分してください。
- 電池交換後は、取扱説明書の「1. 時計のセッティング」を見て時計をセットしてください。

電池のプラス面を上にはめ込む

電池フタを外す
電池フタをはめる

6. 12H/24H表示切り替え方法

- 通常の現在時刻表示の状態ではSETボタンを押すと、12H/24Hの選択表示に切り替わります。
- UPボタンを押して、12Hまたは24Hを選択しSETボタンを押すと表示が切り替わります。
- ※電波受信中は表示の切り替えができません。WAVE/DISPLAYボタンを押して受信を中止してください。

(図7)

SETボタン
UPボタン

UPボタンを1回押すごとに点滅が切り替わります。

7. 温度・電圧表示切り替え方法

- WAVE/DISPLAYボタンを1回押すことに表示内容を切り替えることができます。

(図8)

WAVE/DISPLAYボタン

【時計】+【車内温度】+【車外温度】
↓
【時計】+【車内温度】+【電圧】
↓
【時計】+【車外温度】+【電圧】

8. LEDバックライト切り替え方法

- 本体裏面のLED切り替えスイッチをスライドさせると、白色LEDまたは青色LEDバックライトに切り替えることができます。
- ※電源プラグからの通電がオフの場合、バックライトは点灯しません。

(図9)

LED切り替えスイッチ
WHITE BLUE